

高島和男 県政広報誌

届けます。あなたの思いを県政に。

全力で取り組みます!

「生尊らるる」
『熊本』づくりに



今回の質問は、高島和男ホームページの『お知らせ』、または裏面のQRコードから動画でご覧いただけます

6月定例会 質問報告

選挙後、初めての6月定例会で一般質問を行いました。今回は選挙期間中に様々な立場の皆様方からいただいた提言や課題をもとに作成しました。質疑の一部を記載しましたが、詳しくご覧になりたい方は高島和男ホームページの「お知らせ」、または裏面のQRコードを読み取ってご覧ください。

① これからの保育所について

現在、県内で若干の差はあるものの、保育所の充足率は100%を切っており全地域で定員割れが起きています。熊本市も実は4割を超える施設で定員割れが生じています。

定員を満たしている地域では、以前から兄弟姉妹が別々の園に通っているケースが散見されます。保護者、そして子どもたちのためにも入園に係る審査基準の是正が必要です。「こどもまんなか」を謳い、多子世帯を支援するのであれば県が率先して自治体と協議をし兄弟姉妹が同じ園に通園できる仕組みを整える必要があると思いますが、見解を伺います。



高島

市町村が出来る限り調整をしていると思われるが、まず利用調整の実態を把握した上で、市町村と意見交換を行い何が出来るかを検討する。



県

何が出来るかを検討するとのことですが、その間も一緒に通園できない兄弟姉妹がいることに思いを寄せていただきたい。それこそ誰一人取り残さない姿勢で一刻も早く解消に取り組んでいただくよう改めて要望します。



高島

② 熊本市西南部における稼げる農業について

現熊本市西南部は市街化が進んだことで農地の整備に関して農家の間でも取り組む意欲や考え方が異なります。用排水分離が行われていないことが原因で地下水位が高い農地も多く、出水期ともなれば排水が困難で作物生産に支障をきたしています。こうした農地は用排水分離や暗渠排水等の農地の整備が急務です。さらに湛水被害を防止して施設園芸に取り組むための排水機場で、設置から30年が経過し更新整備に着手していない機場が15あります。多額の費用を必要としますが、将来にわたって排水機能を維持していくことは絶対条件です。熊本市西南部における稼げる農業の実現に向けた基盤整備についてお尋ねします。



高島

地域計画策定に向けた議論を通じて担い手への農地集積、多様な経営体の確保・育成を図り、地元が望む基盤整備の具体化を支援し稼げる農業の実現に繋げる。

15箇所のうち古い5機場については調査を実施し、最も古い元三排水機場は来年度の採択へ向けて事業計画を作成中。今後も市や土地改良区と連携し、適切な監視や補修等で施設の長寿命化を図りながら計画的な更新整備を推進する。



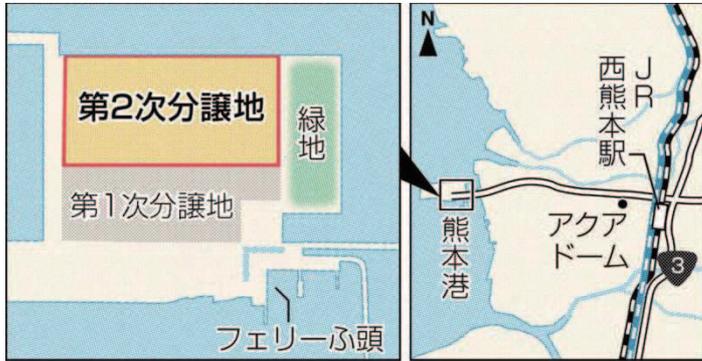
県

③ T S M C 進出における県の役割について



高島

熊本港は平成24年のガントリークレーン整備後、コロナ以前はホンダが二輪車の部品の輸入や完成車の輸出、サントリーが麦芽輸入を博多から一部シフトするなど、取扱量は増加傾向にありました。来年度は安全で機能性に優れた新しいガントリークレーンも設置される運びです。TSMC進出にあたり熊本港からの輸出入の誘導を含めた活用策、及び背後地にある第2次分譲予定地の利活用についてお尋ねします。



※熊本日日新聞 令和5年6月15日朝刊より

県外の港を利用する荷主企業やTSMCの関連企業等に対して積極的な利用を働きかけている。第2次分譲予定地は、昨年度から工場の建設資材や設備の仮置き場所等として活発に利用されている。複数の企業から問い合わせがあり、注目度が高まっているので恒久的な利活用に向けた基盤整備の検討をしている。



県

④ 教育委員会の責任と教師不足への対応について



高島

文科省は教師不足を補うために、教員免許を持っていない人が教壇に立てるなど様々な対策を試みています。歴史を紐解くまでもなく教育は国の活力の源泉であり、教育の質が教師の力量に左右されることは論を待たないところです。数合わせを優先し、質の担保を蔑ろにすれば本末転倒です。そこで速やかに本県の教師志願者に向けて現場の仕事量削減の明確化と中長期的な採用指針や確保の見通しを示すべきと思いますが所見を伺います。

働き方改革と教員のなり手の確保の両輪で取り組みを進めている。外部人材の活用、さらなる業務の削減、効率化に取り組む。質の高い教員の確保に努め、教員が本来担うべき業務に専念できる環境の整備に取り組む。



県

今回敢えて責任と表現したのは、悠長なことを言われていけないという危機感からです。

本県教育委員会の事務局は292人の職員で構成され、その半数以上が先生方です。委員会の先生方は学校現場の悩み、目詰まりの原因を熟知されており、教壇に立つ先生方に代わって負担を軽減、解消することも大事な任務のほうです。それがまさに学校現場と委員会を行き来する本来の目的の一つではないでしょうか。委員会における先生方の奮闘を祈念致します。



高島



一般質問の様子は熊本県議会のホームページよりご覧いただけます



高島和男事務所

〒862-0962
熊本市南区田迎 2-17-7
TEL.096-288-6004
FAX.096-288-6009

届けます！あなたの思いを県政に
高島和男サポーター募集中です！

ホームページでは写真付日記を毎日更新！

<https://takashima-kazuo.com>

Facebookもやっています！

